

①現行計画の施策・事業に関する改定方針まとめ

資料3

基本方針	施策			改定方針		
				区分	改定理由等	
堺らしさを象徴する緑のシンボルエリアを育みます	1-1	中百舌鳥エリアの緑を育みます	世界文化遺産の拠点に相応しい大仙公園の整備	継続	各課照会結果と基本計画2025との整合を図るための内容修正あり	
			大仙公園の魅力向上に向けた管理運営	継続	各課照会結果と基本計画2025との整合を図るための内容修正あり	
			百舌鳥古墳群における古墳の保存・活用	継続	各課照会結果を反映させるための内容修正あり	
			仁徳天皇陵水環境改善整備事業	掲載終了	一定レベルの水環境が確保されたため	
			緑豊かな百舌鳥古墳群と調和した景観の形成	継続	各課照会結果を反映させるための内容修正あり	
	1-2	環濠都心エリアの緑を育みます	堺旧港と周辺緑地・公園の整備と大浜体育館建替え(武道館併設)	継続	各課照会結果を反映させるための内容修正あり	
			都心地域のまちづくりに寄与する緑化推進	継続	各課照会結果と基本計画2025、堺・モビリティ・イノベーション推進事業との整合を図るための内容修正あり	
			環濠都市堺の再生事業	継続	各課照会結果と関連計画の内容を反映させるための内容修正あり	
	1-3	南部丘陵エリアの緑を育みます	翁橋公園の整備	掲載終了	公園整備完了のため	
			緑地保全の推進	継続	基本計画2025と都市マスとの整合を図るための内容修正あり	
	1-4	臨海エリアの緑を育みます	農空間の保全・活用【再掲】	掲載終了	一定の目標に達したため	
			公園墓地事業の推進	継続	各課照会結果を反映させるための内容修正あり	
	1-5	泉北ニュータウンエリアの緑を育みます	魅力あるウォーターフロントの形成	継続	都市マスとの整合を図るための内容修正あり	
			堺第7-3区における共生の森づくり	掲載終了	大阪府との協定終了にともない、緑の拠点整備事業は完了したため	
			泉ヶ丘駅周辺における都市公園の整備	継続	各課照会結果を反映させるための内容修正あり	
堺を支える緑の骨格を育みます	2-1	拠点となる緑を育みます	原山公園再整備運営事業	継続	各課照会結果を反映させるための内容修正あり	
			泉北ニュータウンにおける緑道の魅力向上	継続	基本計画2025、都市マスとの整合を図るための修正、新規事業照会結果を踏まえた内容修正あり	
			地域の拠点となる都市公園の整備	継続	各課照会結果を反映させるための内容修正あり。3-2①と合体	
			大規模な都市公園のパークマネジメント	継続	「大規模な都市公園のパークマネジメント」と「小規模な都市公園のパークマネジメント」を統合し、「パークマネジメントの推進」に修正	
	2-2	軸となる緑を育みます	百舌鳥古墳群における古墳の保存・活用【再掲】	継続	各課照会結果と基本計画2025との整合を図るための内容修正あり	
			親水コミュニティ活動支援事業	掲載終了	実施予定がないため	
	身近なまちの緑を育みます	3-1	身近な緑の保全を進めます	環濠都市堺の再生事業【再掲】	継続	各課照会結果とホームページ内容を反映させるための内容修正あり
				大和川周辺における水と緑を活かした空間づくり	継続	各課照会結果の反映、大阪府みどりの風促進区域に関する内容修正あり。現行計画には水と緑のネットワークに関する施策がないため追加修正あり
				身近な樹木・樹林の保全	継続	
		3-2	身近な緑の創出を進めます	農空間の保全・活用	継続	生産緑地に関する内容の追加と農業振興ビジョンを踏まえた内容修正あり
生物多様性保全推進事業				継続	生物多様性堺戦略を反映させるための内容修正あり	
身近な都市公園の整備				継続	公園の再生と再編、公園施設の長寿命化に関する施策の追加あり	
安全・安心・快適な公園づくり				継続	防災系と健康福祉系に分けて記述。リニューアル施策は、公園の再編で掲載	
小規模な都市公園のパークマネジメント				継続	「大規模な都市公園のパークマネジメント」と「小規模な都市公園のパークマネジメント」を統合し、「パークマネジメントの推進」に修正	
ともに緑を育む絆をつくります	4-1	緑とまちを育む人を育てます	長期未着手都市計画公園の見直し・整備プログラムの策定	継続	未着手公園の評価は全て終わっているため	
			民有地における緑化推進	継続	公共空間の緑化に関する施策を追加する内容修正あり	
			風致地区内における開発時の緑化指導	継続		
	4-2	緑のまちづくり活動を支援します	グリーンカーテン整備事業	掲載終了	継続的に実施してきたことで、グリーンカーテンのための設備が充実し、一定の成果が得られたため	
顕彰制度の充実			継続			
4-3	緑のまちづくりを支える仕組みをつくります	公園における市民活動への支援	継続	各課照会結果を反映させるための内容修正あり		
		公共的空間における緑のまちづくり活動への支援等	継続			
4-3	緑のまちづくりを支える仕組みをつくります	区民まちづくり基金活用事業	継続			
		基金事業の充実と財源の確保	継続			
4-3	緑のまちづくりを支える仕組みをつくります	多様な主体による緑のまちづくりの推進	継続			

②現行計画の改定方針を踏まえた新規施策案(全庁照会結果)

資料3

キーワード	区分	新規施策に位置づける理由
公園長寿命化計画	新規	今後、老朽化を迎える公園施設について、効果的・効率的に施設更新等を進めるとともに、維持管理費の平準化及びライフサイクルコストの縮減を図り、公園利用者が安全・安心・快適に利用できるよう維持管理を行うため
「居心地がよく歩きたくなる公園」づくり	新規	高齢者の健康づくり・フレイル予防を目的に公園を活用するため
大仙公園飲食・物販施設整備事業	新規	百舌鳥古墳群への来訪者及び市民の双方が快適に滞在することのできる環境を創出するため
百舌鳥古墳群管理事業	新規	古墳の価値を守るとともに、個々の古墳の状況に応じた整備を行い、古墳の価値をわかりやすく伝えていくため
堺・モビリティ・イノベーション(SMIプロジェクト)の推進	新規	便利で快適に移動できる環境整備や、歩きたく回遊したくなるウォークアブルな空間形成などにより、都心エリアの魅力向上、活性化をめざすため
緑道を活用したウォークアブルシティとしての機能向上	新規	泉北ニュータウンの都市構造の特長である「緑道ネットワーク」を活かし、駅から学校や近隣センターなどの各拠点や住宅地に至るまで、自然や緑を感じながら歩いてまわる空間や環境を形成し、回遊性を向上させるため
緑道や公園を一体的に活用した公的賃貸住宅の再生	新規	緑道と団地とのネットワーク化を図り、脱炭素社会の実現に資するウォークアブルな空間をめざすため また、緑道や公園に隣接する利活用可能な土地においては、新たな魅力や価値の創出に向け、一体的な空間の利活用をめざすため
緑道や公園を活用した健康寿命延伸の取組	新規	泉北ニュータウンの各住区には、公園や緑道など、様々な活動できる場所があり、外に出たくなるような魅力的な環境が整っていることから、それらを活かした健康寿命延伸の取組を推進するため
公園などの公共空間の管理・活用への住民参加の促進	新規	住民自らが公園などの公共空間を活用した社会実験やイベント開催などを通じて、管理・活用に積極的に携わる取組を促進し、自然豊かな環境で子育てを楽しむライフスタイルの定着を図るため
沿川通行環境整備工事	新規	大和川左岸沿川において、都心部における水と緑が同時に感じられる貴重な空間を活かした安全・快適な自転車・歩行者の通行空間を整備するため
街路樹の計画的な維持管理	新規	本市が管理する街路樹を計画的に維持管理し、「道路交通の安全性と信頼性の確保」「景観や環境などに配慮した快適な道路空間の形成」「維持管理費を低減」を目指すため。

③情勢の変化をふまえた新規施策の追加

キーワード	区分	新規施策に位置づける理由	
グリーンインフラ	新規	近年、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進めるグリーンインフラに関する取組が推進されているため。	
民間連携	財源確保	新規	近年、環境分野に関するプロジェクトに対する資金調達の方法として、ファンドやボンドなどに取組む例が増えているため。
	民間技術の活用	新規	今後は、企業が保有するノウハウを活用した緑の施策展開も考えられるため。
DX	SNSの活用	新規	市民・団体・企業・学生等の様々な主体に向けた情報発信や交流のツールとして、SNSの活用が有効であると考えられるため。
	オープンデータ化	新規	情報の価値を高め活かすことで、新たな市民サービスの創出や都市魅力の向上に繋がると考えられるため。
アフターコロナ、ニューノーマル	新規	アフターコロナ、ニューノーマルへの対応として、緑等のオープンスペースの重要性が再認識されているため。	

④緑の政策審議会での意見を踏まえた検討

資料3

項目		審議会での意見	改定計画への反映方針
目標値の設定		<ul style="list-style-type: none"> ・数値化できる項目は可能な限り数値化し、見える化していただきたい。 ・「30 by 30」を加えていただきたい。 ・「体験の質」を踏まえた目標設定が重要である。 	今後、緑の目標設定あたって検討を行います。
施策	公園のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・多機能化の話があるが、公園に様々な施設を置くだけでは多機能にはならない。多くの方が安全安心に利用できるようにするためには、施設設置の段階まで専門家の意見が入るようにすることが望ましい。 ・堺市には1,000を超える公園があり、公園の生い立ちや地域における活用がそれぞれ異なるので、地域と話し合っって方向性を検討いただきたい。 ・市民個人で公園を活用してイベントを行うようなことは難しい状況となっている。市も自治会も頑張っていたので、うまくつながる仕組みがあると、一般市民も取り組みやすいと思う。 	施策番号9、11、12に、パークマネジメントや公園の再生と再編、新しい時代に対応した公園づくりに関する施策を位置づけました。
	ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・堺市には多様な地形、多様な緑があるので、つなげていくことを考えて欲しい。 	施策番号7に、水と緑のネットワークの構築施策を位置づけました。
	維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・緑を増やすだけでなく、アップデートしていくことが必要。植えてから手を加えていないことが課題だと思う。 	里山管理(施策番号2)、パークマネジメント(施策番号9)、街路樹の維持管理(施策番号22)等に、緑の再生や維持管理に関する施策を位置づけました。
	景観、緑化	<ul style="list-style-type: none"> ・景観は大事だと思うので、危ない木を切るだけでなく、美しさ・デザイン性を踏まえて質を向上していく内容を加えていただきたい。 	基本方針3に関連して、都市緑化のための施策を位置づけました。
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンインフラに関しては、知名度が低い状況である。情報発信について示していただきたい。 ・市民の声を伝えやすいツールを、IT化の中で考えていただくのもよいかと思う。 	施策34にグリーンインフラの取組の推進を、施策31にSNS等を活用した情報発信と連携施策を位置づけました。
	財源確保	<ul style="list-style-type: none"> ・府の補助金や、企業のノウハウ、民間資金の活用も含めた検討が望ましい。 	施策番号32に、基金事業の充実と財源の確保施策を位置づけました。
	緑の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・都市のレジリエンスに占める公園緑地の役割を書き加えてはどうか。 	計画の前段として「社会情勢の変化と求められる新たな視点(課題)」といった項目を設け、緑を取り巻く社会情勢として公園緑地の役割が広がっていることの記載を検討します。
	施策と事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各施策、各事業間の関係を整理いただきたい。縦割り構造に留まらない作り方が重要である。 	施策、事業間の関係を整理し、施策体系図を作成しました。また、現行計画では事業が記載されていますが、改定計画では施策と事業を分離し、本編には施策を記載することとしました。
他	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然に根差した解決策(Nature Based Solutions)」を加えて考えていただきたい。 	計画の前段として「社会情勢の変化と求められる新たな視点(課題)」といった項目を設け、「自然に根差した解決策(Nature Based Solutions)」を盛り込むとともに、関連箇所への記載を検討します。	
進行管理		<ul style="list-style-type: none"> ・評価の方法も示していただきたい。 ・各事業のチェックを積み上げて計画全体のチェックを行うことが大切である。 	従来通り各事業のチェックを行うとともに、計画全体の評価が行えるよう、基本方針と紐づけた目標設定を検討します。
		<ul style="list-style-type: none"> ・改定にあたって、どのような成果や課題を改善していくかを検討することが必要である。 	課題と基本方針、施策が一連の流れとなるように、計画の構成を見直しました。
		<ul style="list-style-type: none"> ・計画全体の「大きなPDCA」と事業ごとの「小さなPDCA」を整理することが重要である。トップダウンの政策に加え、「OODA」やタクティカルアーバンイズムといったボトムアップの考え方の両面からアプローチする方針づくりが望ましい。 	従来通り各事業のチェックを行うとともに、計画全体の評価が行えるよう、基本方針と紐づけた目標設定を検討します。また、基本方針4を「市民とともに緑の輪を広げます」とし、市民・地域コミュニティとの協働の強化を図るものとします。